

Close-up

宮前公園で共催イベントを開催しました

11月3日、尾久図書館と宮前公園の共催で読書活動推進月間イベント「絵本に出てくるパンで『ホットサンド』をつくっちゃおう」を開催しました。当日は、図書館内にあるひぐらしペカリーと尾久ふれあい館も協力して、約40名の親子が公園内のかまどベンチを使ったホットサンド作りに挑戦。絵本と美味しいホットサンドで楽しい時間を過ごしました。



読み聞かせの様子



完成したホットサンド

「干支芝アート」が完成しました！

宮前公園の芝生広場に、今年の干支「うま」をモチーフにした「干支芝アート」を作りました。デザインは宮前公園と尾久図書館を利用している方々に投票で選んでもらいました。「干支芝アート」は2月中旬まで見ることができます。ぜひ、行ってみてね。

【問合せ】土木管理課 ☎ 内線2757



皆さんから選ばれたうまのアート

ポッチャ○×クイズの答え

A1 × ボッチャは投球ボールを当てることで、ジャックボールを動かすことができます。

A2 ○ 投げる順番はジャックボールから遠いチームからです。その後は、ジャックボールに遠いチームが、相手チームよりも近くなるまで投げます。

A3 × ランプ使用時選手はオペレーターからアドバイスをもらうことはできません。

令和7年(2025年)10月からプラスチックを回収しています！

Q なぜ「プラスチック」を回収するの？

A プラスチックを分けてリサイクルすることで、燃やすごみの量を減らし、CO₂を減らすことができます。また、燃やすごみの量を減らすことで焼却灰が減るため、ごみのうめ立て処分場を長く使うことができます。

Q どのくらいのCO₂が減らせるの？

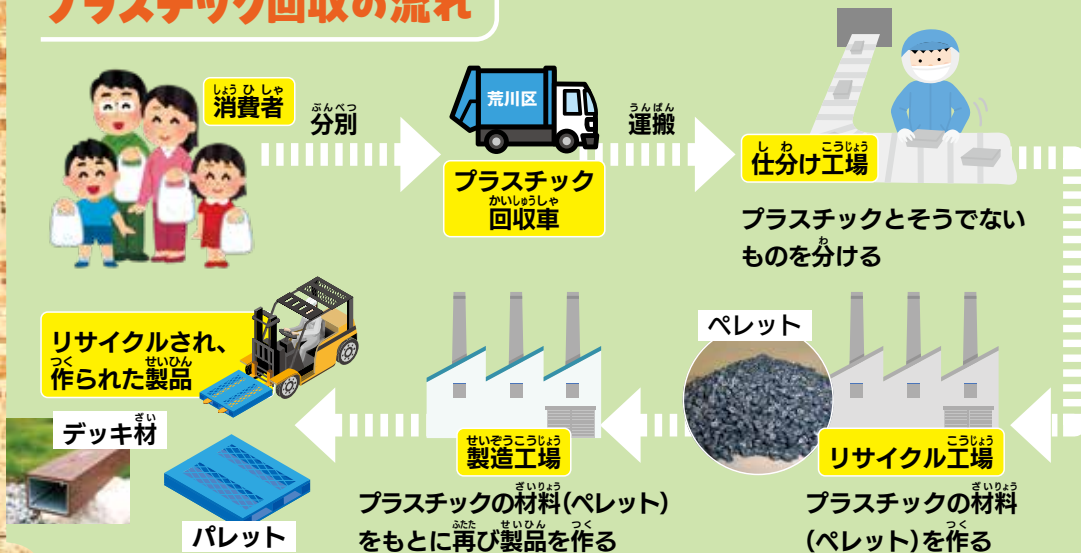
A 荒川区全体でプラスチック回収を行うと、1年間で約2,424トンのCO₂が減らせます。これは杉の木約17万本が1年間に吸収する量と同じになります。

地球温暖化を防ごう！

地球温暖化の原因の1つとされているCO₂が増加しています。CO₂を減らすことで、ホッキョクグマなどの動物たちの住みかを守ることにつながります。



プラスチック回収の流れ



新 あらかわ 今昔ものがたり

道灌山の土

江戸名所と線路 江戸時代、虫聞きの名所として知られた道灌山は明治になって削られていたって知っていた？ 線路を通すために中腹が削られたんだって。え？ じゃあその削った土はどこへ行ったって？

道灌山の土 道灌山を削った土は隅田川駅を整地するのに使ったっていわれてるよ。明治29年(1896)のことだよ。だから隅田川駅は今年で130周年だ。

隅田川駅は貨物の駅だよ。最初は隅田川と運河でつながっていた。その運河と線路は並んでいて、船と鉄道の間で荷物の積み替えが行われていたんだよ。

駅を作ったのは日本鉄道という会社だ。田端から隅田川駅まで線路を通すのに道灌山を削る必要があったんだって。その土を隅田川駅の整地に使ったんだね。最初は船で運んでいた。でも効率が悪い。だから先に線路を通して機関車で運ぶことにしたんだってさ。工事をしたのは鹿島組(現鹿島建設)。その下請けに須賀という人がいた。機関車の運転を練習して、自分で土を運んだんだって。本当かな？ この人、仕事熱心だね。

日ぐらしの里の土 日暮里で土といえば、明治

期に、江戸名所だった花見寺の土が売られた話があるよね。斜面はほとんどなくなって富士見坂だけが残ったってあれ。その土で田んぼを埋めて、不忍通りを作るのに使ったっていわれているよ。

延命院貝塚の発見 延命院貝塚の発見も、土取りが関わっているよ。東京帝室博物館(現東京国立博物館)の関保の助という人が、土を掘り返しているところに出くわして、延命院貝塚を見つけたんだ。この土は上野の不忍池の周りに運んで競馬場の整地に使ったんだって。

日暮里の地形と土木工事 建物を新しく作る時には整地が欠かせない。その際、土砂が必要だ。明治になって作られた近代的な施設も同じだったんだね。一方、江戸名所だった道灌山や日ぐらしの里は土が削られ地形が変わった。見た目や道も変わってしまった。でも日暮里の土が南千住や上野に埋まっているなんて、なんだか不思議！



「江戸名勝図会 道灌山」(荒川ふるさと文化館蔵)